

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 5月30日記入

基本目標	I ▼ 学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	15120
政策名 (章)	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります	評価担当課	生涯学習部 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 生涯学習の推進		生涯学習課
施策名	生涯学習活動の支援	課長名	川野 佐一郎

1 施策の概要・目的

市民の多様な学習活動を支援するため、幅広い分野の講座内容や施設、指導者に関する情報の収集提供体制の充実に努めるとともに、広範な学習相談に応じることのできる体制の整備を進めています。また社会教育関係団体の育成を図るとともに、団体間や地域で活動しているグループとの交流を促進するなど、団体の活性化を目指しています。

2 施策の現状

いつでも、どこでも、誰でもが、学びたいことを自分にあった方法で学ぶことができるよう、生涯学習情報システムでの情報提供に努めています。また、地域に根ざした活動をしている社会教育関係団体に対して、運営の補助や指導者育成等の支援を行っています。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

206,275 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

335 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **69** 番目です。

(4) 施策に要している人員

6.28 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	生涯学習情報システム情報提供率 生涯学習情報システムアクセス件数 / 目標件数 * 100	生涯学習情報システムへのアクセス件数により活用状況を測る	現状	43,732 件数 単位	0 50 100	目標年度
			目標	52,000 件数 単位		22 達成度 84.10%
指標2	社会教育関係団体事務室利用率(会議室部分) [利用団体数 / (開室日 * 利用区分)] / 目標値 * 100	社会教育関係団体の拠点としての事務室の活用状況を測る	現状	51.6 % 単位	0 50 100	目標年度
			目標	70 % 単位		22 達成度 73.71%
指標3			現状	単位	0 50 100	目標年度
			目標	単位		達成度 %

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

生涯学習に対する市民の関心はますます高くなっており、的確な情報提供・相談体制の整備など自主的な学習活動を促進する環境づくりが必要とされています。

6 有効性…期待される効果があがっているか

インターネットの普及とともに、情報化社会が進展している中で、市民のライフステージに対応した多様な学習情報を提供することができるようになっており、年々アクセス件数も増えています。また、社会教育関係団体に対する運営の補助は、地域に根ざして活動している団体にとって大きな支援になっています。さらに指導者育成に伴い、自主的・主体的な運営が図られてきています。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

インターネットの普及に伴って、生涯学習情報システム、生涯学習施設予約システムの導入により、施設に出向かなくても多様な学習情報を得たり、施設の予約や抽選申込みができるようになっていきます。また、今後は団体活動が地域に還元されるような場を積極的につくり出していく必要があります。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

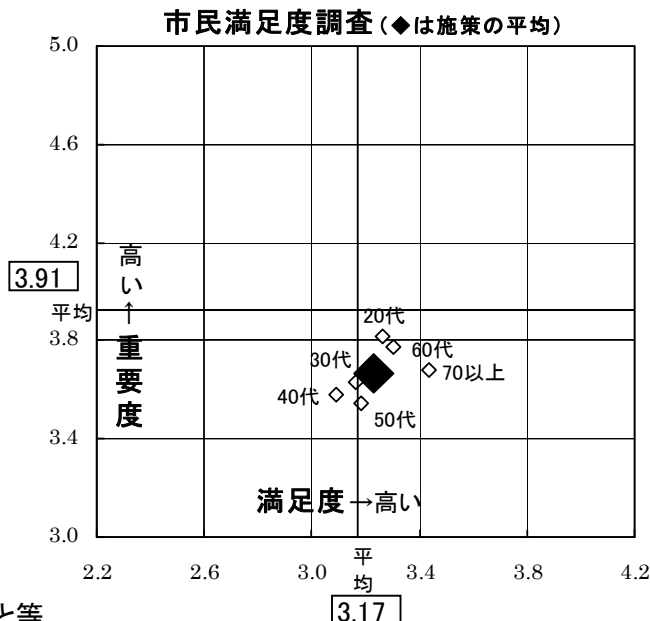
◆この施策の満足度は、3.230で、調査した51施策の中で16番目です。

◆この施策の重要度は、3.666で、調査した51施策の中で41番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.308で、調査した51施策の中で40番目です。

◇年齢別にみると、30歳代～50歳代で満足度及び重要度もやや低くなっていますが、年齢による大きな差はみられません。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

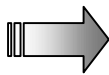


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

生涯学習情報システムでの提供情報の内容充実に努めるとともに、そのPRに努める必要があります。また、地域連帯感の希薄化や個人主義の風潮も重なり、地域に根ざした活動をしている社会教育関係団体の活動が展開しづらい傾向にあります。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input type="checkbox"/> 拡充する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

生涯学習体系の中で、学校教育と社会教育の連携・融合を進めることが、生涯学習社会を実現する上でますます必要性を高めてきており、今後お互いの情報を共有していく必要があります。また、地域社会の崩壊が叫ばれる中、住民の連帯意識の高揚や地域の教育力の回復のためにも、地域に根ざした活動を展開している社会教育関係団体の役割は大きく、今後も地域におけるまちづくりの担い手として、その活動への期待は大きいため、継続した支援が必要です。

11 2次評価

説明
<input type="checkbox"/> A
<input type="checkbox"/> B
<input checked="" type="checkbox"/> C

生涯学習は個々の学習ニーズに応じて主体的に行われるものであり、その主体性を損なわない範囲内でかつ意欲的に活動できるような支援策を検討すること。よって、団体などに対する単なる活動費補助等は見直すこと。

12 外部意見

説明

生涯学習に関する的確な情報提供やPR活動、相談体制の確立に努めるべきである。

施策名 生涯学習活動の支援

施策コード 15120

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額(千円)	人員(人)	評価の概要								施策中の優先順位	
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性		今後の進め方
女性グループ育成費	生涯学習課	15	857	0.09	A	B	B	B	/	/	B	B	継続	2
地域婦人団体の育成	生涯学習課	15	947	0.06	A	B	B	B	/	/	B	B	継続	1
旧南文化センター活用経費	生涯学習課	15	23,473	0.03	AA	A	A	B	/	/	A	A	継続	4
社会教育関係団体事務室利用者協議会補助金	生涯学習課	14	8,098	0.10	AA	A	B	B	A	A	A	/	継続	3
施設運営費・情報の活用	総合学習センター	15	172,900	6.00	AA	B	A	A	/	/	A	B	継続	1

合計 5 事務事業 206,275 千円 6.28 人 平成14年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
 平成15年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、公平性